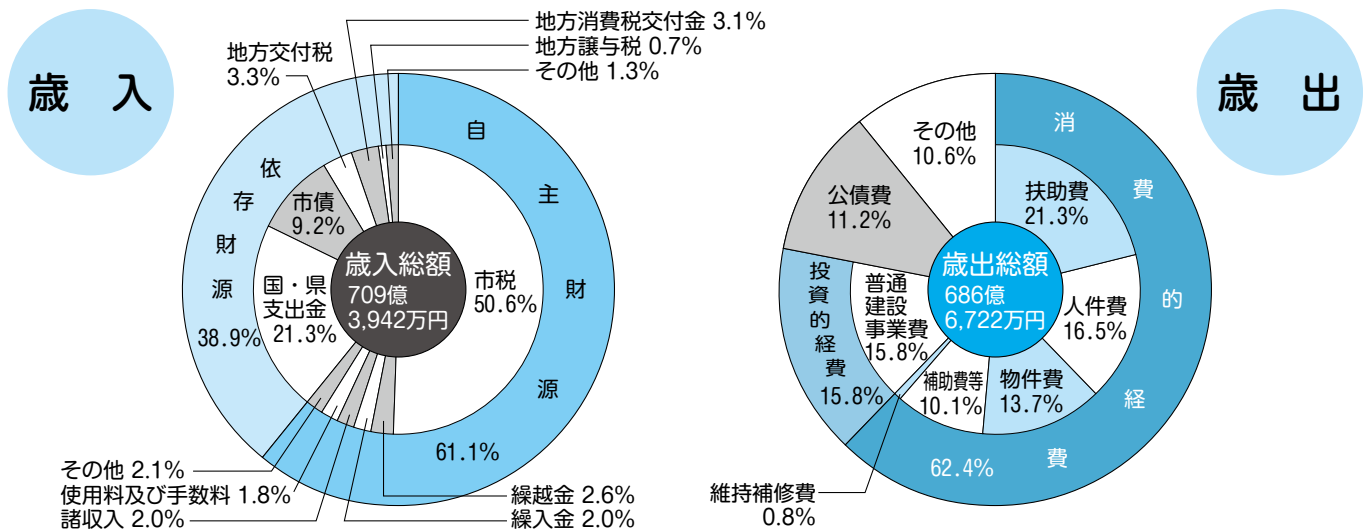


# 平成 25 年度の決算を審査

# 一般会計・特別会計・企業会計の

## 一般会計決算

	平成 25 年度決算額	平成 24 年度決算額	比較増減	増減率
歳入	709 億 3,942 万円	736 億 4,479 万円	27 億 537 万円	△ 3.7%
歳出	686 億 6,722 万円	717 億 7,396 万円	31 億 675 万円	△ 4.3%
差引額	22 億 7,220 万円	18 億 7,083 万円		



### 一般会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 個人市民税が前年度に比べ増となった理由は。

**答** 平成 24 年度に個人市民税の特別徴収を推進するなど、収納強化に努めたことから増となったものである。

**問** 平成 25 年度にオープンした新キラメッセぬまづの利用状況と、利用状況に対する認識は。

**答** 平成 25 年度におけるキラメッセぬまづの来場者数は 31 万 6,247 人で、供用開始以降の稼働率は、多目的ホールが 64%、市民ギャラリーが 70%であった。

来場者数については、旧キラメッセぬまづにおける年間平均利用者数の 40 万人以上という目標を掲げており、供用開始した 7 月からの 9 カ月間で換算

すると概ね 30 万人となることから、平成 25 年度については概ね目標どおりの来場者を達成できたものと認識している。

稼働率については、旧キラメッセぬまづの年間稼働率という目標を超えることはできなかったが、これまで利用していた団体や新規団体の利用もあることから、引き続きリピーターの確保も含め、利用促進に努めていく。

**問** スマートインターチェンジ設置事業における取り組みは。

**答** 東名高速道路（仮称）愛鷹スマートインターチェンジの設置については、上り線側の用地取得や物件補償が完了し、埋蔵文化財調査を実施するとともに、下り線側の用地の境界測量及び用地取得を開始し、

アクセス道路の改良工事を実施した。また、新東名高速道路（仮称）駿河湾沼津スマートインターチェンジの設置については、アクセス道路において用地の境界測量や道路詳細設計、地質調査及び東名高速道路跨道橋の詳細設計を実施した。

**問** 平成 25 年度決算の特徴と総括的な評価は。

**答** 歳入については、税制改正により大幅な減収を見込んでいた法人市民税が、一部業種の好調により、対予算額を上回るとともに、収納強化に努めたことなどによって収納率が上昇した。

また、株価が堅調に推移したことで配当割交付金や株式等譲渡所得割交付金が増加するとともに、ふるさと納税に

よる寄附金も増加したが、キラメッセぬまづの建設終了により国庫支出金や市債は大幅に減少した。

一方、歳出については、給料減額支給措置による人件費の減及び公債費も前年度に比べ減となったものの、扶助費については生活保護費や障害者福祉にかかる自立支援給付費の増等により増がみられた。

また、普通建設事業については、静浦小中一貫学校や門池地区センターの建設、西浦保育所の移転、消防拠点施設やスマートインターチェンジの整備などが着実に行われた。

歳入歳出差引の結果として、実質収支を確保し、財政調整基金も積み増しを行うなど、次年度以降の貴重な財源を確保できたと考えている。

◆ 2、3 ページは、1 万円未満を四捨五入してあるため、差引額等が一致しない場合があります。